

第一次世界大戦に至る経緯が不正確である。

大戦の勃発 上の図を見よう。ふたをおさえているのは、左からロシア、イギリス、ドイツ、イタリア、オーストリア。ドイツは、バルカン半島から西アジアに勢力を拡大するために、海外進出をめざし、ゲルマン民族の団結を唱えていた。オーストリアは、帝国内のスラブ民族をおさえるために、ドイツを支援した。

こうした動きは、アフリカやアジア進出をめざすフランス・ロシアとの対立を深めた。植民地獲得の競争は、バルカン半島にも広がって、そこは「ヨーロッパの火薬庫」とよばれた。列強はさそって軍備を拡大し、ロシア・フランス・イギリスは三国協商を、ドイツ・オーストリア・イタリアは三国同盟を結んだ。1914年、バルカン半島のサラエボを訪問したオーストリア皇太子夫妻が、セルビアの青年によって暗殺された。1か月後に、第一次世界大戦がはじまった。

大戦の勃発 上の図で、ふたをおさえているのは、左からロシア、イギリス、ドイツ、イタリア、オーストリアである。列強による勢力拡大競争は、トルコからの独立運動が活発になっていたヨーロッパ南東部のバルカン半島にもおよんだ。ドイツ・オーストリアは、この地域に勢力を広げようとするいっぽうで、ロシアはセルビアを助けてスラブ民族の独立と結集をはかった。また、1882年、ドイツは、オーストリア・イタリアと三国同盟を結び、1907年、ロシア・フランス・イギリスとのあいだで三国協商が成立した。

こうして、バルカン半島は「ヨーロッパの火薬庫」とよばれ、戦争の危機が高まっていた。そしてついに、1914年、サラエボを訪問したオーストリア皇太子夫妻がセルビアの青年によって暗殺されると、その1か月後に、第一次世界大戦がはじまった。